

年賀状にまつわる感動のエピソードを集めた「年賀状思い出大賞」が 第 14 回の受賞作品を発表。第 15 回の作品募集も開始！

若い世代が紡いだ心温まる年賀状エピソードが多数受賞。

株式会社グリーティングワークス（所在地：大阪市西区、代表取締役会長：徳丸 博之）は、挨拶状ドットコム（<https://nenga.aisatsujo.jp/>）にて、第 14 回「年賀状思い出大賞」で受賞した 12 作品を発表。合わせて第 15 回「年賀状思い出大賞」の募集を開始しました。若い世代が年賀状をきっかけに紡いだ心温まるエピソードが大賞と準大賞を受賞したほか、コロナ禍で思い通りにならない中、仲間から元気をもらうエピソードなど、絆を感じさせる感動のエピソードが多数受賞。第 15 回の募集も開始し、2023 年 4 月 30 日（日）まで受付しています。

■第 14 回「年賀状思い出大賞」受賞作品発表ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>

■第 15 回「年賀状思い出大賞」作品募集ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>

■「年賀状思い出大賞」について

挨拶状ドットコムでは、年賀状にまつわる思い出を全国から募集し、審査、発表する「年賀状思い出大賞」を 14 年前より開始。日本郵便株式会社の後援のもと、年賀状の良さや、年賀状を通じて人と繋がる大切さを感じていただける取り組みとして毎年実施しています。

■中学生が書いた祖母とのエピソードが大賞を受賞

第 14 回の受賞作品では、祖母との心温まる年賀状エピソードが大賞となったほか、年賀状をきっかけに父親の想いに気づくエピソードが準大賞に選ばれるなど、中学生の作品が多数受賞しました。若い世代の感受性を作品から感じとることができます。今回と過去の受賞作品は受賞作品発表ページで読むことができます。



■第 15 回の募集もスタート！

第 14 回の応募点数は 802 作品となり、これまでの応募総数は 12,101 作品となりました。年賀状の良さを多くの方に知っていただけるよう第 15 回の募集も開始。応募締切は 2023 年 4 月 30 日（日）までとなっており、年始に大切な人と交わした年賀状エピソードの応募を受け付けています。



【第 15 回 年賀状思い出大賞 募集概要】

- ・募集ページ : <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>
- ・応募方法 : 応募フォーム・郵送・メール・FAX
- ・応募締切 : 2023 年 4 月 30 日（日）まで
- ・発表 : 2023 年 10 月上旬
- ・主催 : 挨拶状ドットコム
- ・後援 : 日本郵便株式会社

■第14回「年賀状思い出大賞」大賞作品について

毎年届く祖母からの年賀状。中学生の筆者へ送った祖母のメッセージは、これまでの優しく導くものではなく、力強く背中を押してくれるものに変化していた……。筆者の感受性と逞しく成長していく様子が感じられるこのエピソードが第14回の大賞に選ばれました。本作品はショートムービーとして映像化しており、全受賞作品と一緒に第14回の受賞作品発表ページで見ることができます。



僕には、もう七十歳を越えたおばあちゃんがいる。

毎朝五時に起き、ウォーキングを欠かさず行う。そんな健康なおばあちゃんから、毎年必ず年賀状が届く。僕は毎年くる年賀状をいつも楽しみにしている。

ある年は「頑張れ！」と鼓舞する内容で。またある年は、僕の将来を楽しみにする内容の年賀状を送ってくれる。

二〇一九年に届いたおばあちゃんからの年賀状には、こう記してあった。

「世間の風に負けるな」

風とは、他人の目や言葉を表しているという説明があり、この文章が送られてきた時は、心から驚嘆した。いつものおばあちゃんは、僕の前で手を引いて、優しく導いてくれた気がした。この年は、背中を力強く押してくれた気がした。おばあちゃん。今はあまり会えないけど、いつまでも僕の百倍元気でいてね。

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社グリーティングワークス 担当者: 豊(ゆたか)・小松(こまつ)

大阪市西区靱本町 1-5-6 本町辰巳ビル 3F

TEL: 06-6450-8029 / FAX: 06-6450-8129 / E-mail: press@greetingworks.com